

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	抽選登録/異文化コミュニケーション論 (Intercultural Communication)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	グローバルビジネスコミュニケーションに関する理論と実践		
担当者名 (Instructor)	小坂 貴志(KOSAKA TAKASHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	BUS2400	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	履修対象:2012年度以降入学者		

授業の目標(Course Objectives)

グローバル社会で活躍するために求められる、異文化コミュニケーションに関連する概念、スキルを学ぶ。本講座を受講することで、異文化の現場で何が起きているのかを自分なりに理解・解釈でき、学んだ理論や概念を元に、何をすべきかを自分で判断でき、異文化での問題解決をもたらすことができるようになる。

In this course, students will learn concepts and skills related to intercultural communication which are needed in order to thrive in global society. Students in this course will learn to understand and interpret the things that happen in different cultures from their own perspectives, and be able to decide what to do based on the theories and concepts they have learned, so that they are able to solve problems in different cultures.

授業の内容(Course Contents)

基礎概念を効果的に学ぶために、毎週テキストのリーディングの課題を出す。リーディングで得られた知識に関連する講義を聞き、異文化コミュニケーション理論や実践についての理解を深める。さらに、演習やグループ活動を通して、異文化コミュニケーションの実践を体験的に知る。クイズ、レポートなどにより、理解度を把握する。

In this course, students will read an assigned text every week in order to effectively learn basic concepts. Lectures will be related the knowledge students gain from their reading, and students will deepen their understanding of intercultural communication in theory and in practice. Furthermore, students will experience intercultural communication in practice through seminars and group activities. Students' level of understanding will be gauged based on quizzes and reports, etc.

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション(授業予定、概要、評価、自己紹介など)
2. コミュニケーション、(異)文化、文化的生成とは
3. 基礎要因、メタ理論、クリティカルインシデント
4. クリティカルインシデント提出&発表
5. 接触する
6. 比較する:
7. 言語コミュニケーション
8. 非言語コミュニケーション:小クイズ①
9. アジア中心主義
10. 異文化ビジネス理論(交渉)
11. 異文化ビジネス実践(駐在・研修)
12. 異文化ビジネス研修(準備)
13. 翻訳通訳コミュニケーション
14. 異文化ビジネス研修(ロールプレイ):小クイズ②

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

テキストのリーディング、事前配布資料を閲覧してのオンデマンド音声講義の受講、自己理解度クイズ回答と答え合わせ、クリティカルインシデントの作成、グループワークの課題と取り組む

成績評価方法・基準(Evaluation)

クリティカルインシデントのレポート&発表(20%) / 参加度(20%) / リアベ(30%) / 小クイズ(30%)

テキスト(Textbooks)

1. 小坂貴志、2017、『改定版『異文化コミュニケーションのA to Z—理論と実践の両面からわかる』』、研究社 (ISBN:978-4-327-42198-4)
- 毎回テキストを事前に読む必要があるため、購入は必須です。

参考文献 (Readings)

1. 石井敏・久米昭元(編)、2013、『異文化コミュニケーション事典』、春風社 (ISBN:9784861103339)
2. 原沢伊都夫、2013、『異文化理解入門』、研究社 (104327377341)

その他(HP等) (Others(e.g.HP))

- ・(本シラバス執筆時の2022年1月末段階において、)初回～7回目までは対面、以降学期末までオンライン講義となる。オンライン講義の場合、授業時間帯は基本リアルタイムオンラインで開講するが、便宜性をはかるため、リアルタイムオンラインで会う時間を制限する。
- ・詳細予定を配布するので、受講希望者は初回の授業に出席すること。上記の授業計画が変更となる場合、できるだけ早く授業内で説明する。

注意事項 (Notice)